

令和3年度 経済学研究科入学試験問題（一般 I 期）

専門科目：マクロ・ミクロ経済学（理論と応用）

以下の A 群, B 群両方の問題に解答しなさい。

[A 群] 設問 1 あるいは設問 2 のいずれか 1 問を選んで解答しなさい。

1. ある経済において、マクロ経済モデルが次の式で表されるとする。以下の設問にすべて答えなさい。

$$Y^D = C + I + G + N_X, C = 0.8(Y^I - T) + 20, I = 30, G = 28, N_X = 0, T = 15$$

ただし、 Y^D ：支出面から見た GDP、 C ：消費、 I ：投資、 G ：政府支出、 N_X ：純輸出、 Y^I ：分配面から見た GDP、 T ：税金をそれぞれ表す。

- (a) Y^D を Y^I の式で表しなさい。
(b) 均衡 GDP を求めなさい。
(c) 政府支出が $G = 28$ から $G = 40$ に変化した場合、均衡 GDP はどのように変化するか。
(d) (a) ~ (c) では投資は一定であったが、投資が利子率の減少関数であるというモデルに変更した場合、拡張的財政政策の効果にどのような変化をもたらすか。
2. 将来のインフレ率を予想する方法の一つとしての合理的期待形成とはどのようなものか。期待形成が可能となるような前提条件とともに説明しなさい。

[B 群] 設問 1 あるいは設問 2 のいずれか 1 問を選んで解答しなさい。

1. X 財の消費量を x 、 Y 財の消費量を y としたとき、 X 財と Y 財に対する効用関数は

$$u = xy^2$$

で表されるとする。以下の設問にすべて答えなさい。

- (a) X 財の Y 財に対する限界代替率とは何を意味するのか述べた上で、 X 財の Y 財に対する限界代替率を求めなさい。
(b) X 財の価格が 1、 Y 財の価格が 2、所得を 9 とするときの X 財と Y 財の最適消費量を求めなさい。
(c) X 財の価格が 1、 Y 財の価格が 2 のとき効用水準 64 を得るのに必要な所得の最小値を求めよ。
2. ある財の需要曲線が次の式で表されるとする。以下の設問にすべて答えなさい。

$$p = 40 - Q$$

ただし、 p ：価格、 Q ：需要量をそれぞれ表す。

- (a) 市場には、限界費用を 10 とする生産者 A の 1 社のみ存在するとする。このときの市場均衡価格を求めなさい。
(b) 市場には、限界費用を 10 とする生産者 A と限界費用を 10 とする生産者 B の 2 社存在するとする。このときのクールノー均衡における価格を求めなさい。
(c) 市場には、限界費用を 10 とする生産者が無数に存在するとする。このときのクールノー均衡における価格を求めなさい。